

## 歳入

歳入は、前年度に比べ8億9,599.5万円の増額となりました。

### ●主な増額要因

文化交流センターの整備事業の開始、町内小・中学校への空調設備事業の実施、幼児教育無償化事業の実施により、国庫支出金及び地方債が大幅な増額となりました。

### ●各種町税

町税は、47億6,095万円(前年度から5,769万円・1.2%増)となり、収入の30.2%を占めました。

主な増額要因は、固定資産税で、前年度に比べ8,307万円増額となりました。

### ●ふるさと応援寄附金

ふるさと納税の普及推進により、全国の寄附者の方々から9,727万円のご支援をいただき、前年度から2,978万円増額となりました。

引き続き、各種事業実施のための財源確保と安定した財政運営に努めます。

## 歳出

歳出は、前年度に比べ14億4,018万円の増額となりました。

### ●歳出で占める割合が大きいもの(目的別)

#### ①民生費

主な事業については、児童手当、子ども医療費助成、障害福祉等に係る扶助費です。支出することが義務付けられているため、削減が難しく、今後も少子高齢化などの影響により、増加していくものと推測されます。

#### ②総務費

文化交流センターの整備をはじめ、復興事業である須賀地区水門の整備などです。

#### ③教育費

小・中学校空調設備設置事などです。

### ●投資的経費(性質別)

投資的経費については、前年度より9億6,126万円多く、文化交流センターの建築工事の進捗に伴い、増額となりました。

### ●災害対応

令和元年10月に発生した台風第19号の災害対応として、応急復旧工事や稲わら等の災害ごみ処理に対する経費として1億4,910万円を支出しました。

## ■一般会計の主要な事業

### ①文化交流センターの整備 18億5,063万円

「生涯学習」、「文化・芸術活動」、「交流」の拠点となる新たな施設として令和3年7月開館に向け、令和元年度も順調に建設工事が進みました。

工事中の文化交流センター▶  
(令和2年3月時点)



### ②須賀地区水門の整備 9億5,691万円

有事の際、津波の侵入を防ぐため、須賀地区にライジングゲートとオートゲートの2門を整備しました。

◀完成した須賀地区水門(全景)



### ③小中学校空調設備設置 5億2,779万円

小学校6校及び中学校3校の教室等にエアコンを設置しました。



小中学校に設置したエアコン▶